

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)						
研究番号	2022-0026	主たる研究機関	岡山大学		分担研究機関	岡山理科大学 東京大学
研究題目	不妊の遺伝的基盤の解明			研究期間 (西暦)	2023年 承認日 ~ 2024年 3月 31日	
実施責任者	大月 純子	所属	生殖補助医療技術教育研究センター		職位	准教授
研究目的と意義	<p>不妊患者の約20%は原因不明不妊であり、原因解明が求められています。実際、20回を超える体外受精を繰り返し行うも妊娠できない患者さんは少なくなく、金銭面のみならず精神面の負担も非常に大きくなります。しかし、遺伝子の変異がもたらす不妊症(不育症を含む)に関連する研究は少なく、その多くが解明されていないのが現状です。岡山大学を中心とした研究チームでは、子供が授からない患者さんを対象に不妊の原因となる可能性のある遺伝子変異を探しており、いくつかの候補遺伝子が見つかっています。これらの遺伝子の変異は自然妊娠し出産した10人に存在していないことを確認していますが、東北メディカル・メガバンク計画の3世代コホート調査にご参加いただいた方にも存在しないかを調べ、これらの遺伝子の変異が不妊の原因と深く関係するものであるかどうかを調べることを目的としています。</p>					
研究計画概要	<p>本研究ではこれまでに私たちが行った25人の不妊患者さんの解析結果に基づき、自然妊娠出産者10人のみならず、東北大学・東北メディカル・メガバンク機構の三世代コホートゲノムデータ(946人)にも存在しない不妊患者特異的な遺伝子変異であるかどうかを調べます。さらに38KJPNデータベースを用いた解析を行いその特異度を推定します。</p>					
利用するもの	<p>対象: <input type="checkbox"/>地域住民コホート調査 <input checked="" type="checkbox"/>三世代コホート調査</p> <p>試料: <input type="checkbox"/>DNA <input type="checkbox"/>血漿 <input type="checkbox"/>血清 <input type="checkbox"/>尿 <input type="checkbox"/>母乳 <input type="checkbox"/>単核球 <input type="checkbox"/>EBV不死化細胞 <input type="checkbox"/>増殖T細胞</p> <p>情報: <input checked="" type="checkbox"/>基本情報 <input checked="" type="checkbox"/>調査票情報 <input type="checkbox"/>検体検査情報 <input type="checkbox"/>特定健康診査情報 <input type="checkbox"/>生理機能検査情報  <input type="checkbox"/>メタボローム解析情報 <input type="checkbox"/>プロテオーム解析情報 <input type="checkbox"/>認知・心理検査情報 <input type="checkbox"/>MRI画像解析情報 <input type="checkbox"/>MRI画像情報  <input type="checkbox"/>全ゲノム解析情報(全て) <input checked="" type="checkbox"/>全ゲノム解析情報(特定領域) <input type="checkbox"/>SNPアレイ情報(全て) <input type="checkbox"/>SNPアレイ情報(特定領域)  <input type="checkbox"/>その他の情報( )</p>					
期待される成果	<p>本研究において明らかになる不妊となる遺伝子変異が明確になることによって、将来の被災地住民および人類の生殖繁栄に貢献できることが期待されます。また、遺伝子変異に起因している不妊を明らかにすることは、不妊治療へ新しい展開をもたらすと期待されます。</p>					
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	2023年4月 岡山大学倫理委員会承認					
倫理面、セキュリティ面への配慮	<p>人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針及び別途締結する研究契約を遵守して研究を実施します。分譲された情報は、ToMMoのセキュリティポリシーに沿ってネットワークから切り離されたスタンドアローンの環境でのみ解析します。データは岡山大学生殖補助医療技術教育研究センターにおいて鍵をかけて厳重に保管します。</p>					
その他特記事項	なし					
(事務局使用欄)	*公開日 令和5年7月11日					